



第92号
(季刊春号)

平成30年
5月 発行

「その時」のための意思表明

土崎病院外科部長 八木 伸夫

死を迎える直前にどの程度までの医療を受けたいか。「その時」が来る前に意思を表明し、家族と共有しておくことは重要です。行いうる医療に関し、以下の項目を希望するかどうか、意思表明の助けとなるよう解説致します。

①心肺蘇生術：人工呼吸と心臓マッサージ（胸骨圧迫）のセットです。器具がそろった病院では人工呼吸は気管に管を入れて行われます。また胸骨圧迫は正しい手技で行った場合、高齢で骨が弱ければ必ず胸骨や肋骨が折れてしまいます。苦痛を除くことが治療の主眼となる終末期にこれをお受けになることはお勧めできません。

②昇圧剤の投与：下がった血圧を上げるのが昇圧剤です。当然、死の直前は心臓が弱り血圧が下がりますが、昇圧剤は心臓をよみがえらせるものではありません。弱った心臓にムチを打ち、無理やり頑張らせるのです。当然そのうち心臓は疲れ果ててしまいますが、多少延命にはなります。この昇圧剤は手術後や疾患の急性期など、回復の望みがある状態に使用するのですが、苦痛を除くことが治療の主眼となる終末期に使用することはお勧めできません。

③中心静脈カテーテル：輸液を長期間行うと手足の表在の血管は輸液に使用できなくなってしまいます。その後も輸液を行うのであれば、表面からは見えない深部を走行する静脈にカテーテルを留置します。しかしこれには出血や臓器損傷などの合併症が

あります。そしてカテーテルも永久に使用できるわけではなく、感染して発熱の原因となったり閉塞したりすれば入れ替える必要性があります。その入れ替えにもまた合併症の危険性がつきまとうのです。また、臓器の機能が落ちた状態で輸液を続けると、むくみや胸水や腹水の原因となります。

④経管栄養：胃に穴を開けたり、鼻から胃までチューブを通して流動食を入れる方法です。多くの方は順調に導入され輸液をやめることができます。しかし体がそれを受け付けなければ嘔吐や下痢の原因となります。また、痰の量が増加して呼吸を苦しくしてしまう恐れもあります。この経管栄養は輸液をやめるためのもので、これを拒否して代わりに合併症の危険性がより大きい中心静脈カテーテルを希望する、というのは本末転倒と言えます。

⑤末梢輸液：手足の血管から輸液を行える間は可能です。しかし前述のようにそのうち血管が無くなり輸液ができなくなります。輸液をやめると間もなく脱水死（=老衰）を迎えることになります。

⑥輸液さえもしない：脱水死というのは最も自然な最期で、胸水や腹水を抱えるよりも苦しみが少ないのです。この場合にも必要であれば酸素投与、麻薬の皮下注射などの治療は可能です。

そして、どの選択がなされた場合にも苦しみを和らげる治療に関しては可能な限り行われます。



裏方として

事務部長代行 寺門 啓之

昨年の10月1日から土崎病院で出向職員として勤務をさせて頂いております寺門と申します。私の出向元は関連法人の医療法人久盛会です。久盛会勤務は21年になり、その間医事課3年、介護老人保健施設5年、総務課で13年勤務をしておりました。その経験を少しでも役立てればと日々模索をしているところであります。中々成果を出せず苦悩の毎日です。

総務課という部署で長年働いてきた自分が是非とも取り組みたいことの1つとしては、大災害などの緊急事態が発生した時に損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための事業継続計画（Business continuity planning, BCP）を立てていかなくてはならないと感じております。万が一の際の地域の方々の受け入れ体制や入院患者さんが発災後も治療を続けていける体制を構築し、地域の方々のために必要とされる、災害に強い病院でありたいと思います。以前参加した災害対策の講習会では「マニュアルで対応できる災害は本当の災害とは言わない」と言われたことがあります。我々は常に様々なことを想定し、環境の変化に対応すべくバージョンアップを繰り返せる体制作りの構築が必要不可欠だということでしょう。

さて、病院事務員と聞くと皆様方は受付で対応している女性職員のイメージが大きいのではないでしょうか。確かに受付の方も事務部の職員ですが、なかなか表舞台には出てこない事務職員も多くおられます。例えばホテルであれば宿泊者が接するのは主にフロントステージの係員となります。客室の掃除やベッドメイキングを行うメンテナンス部門、シーツタオル、アメニティグッズなどを担当する購買部門、施設の維

持管理や警備を行う施設管理部門など様々な部門の職員がいるおかげで快適に宿泊することができ、翌日特段の問題がなくチェックアウトが出来るのは、宿泊者と接することのない職種の人々の裏方での活動が、実はフロントステージの職員と一緒にになって行われているからです。病院事務職員も内容は違えども同じようなものだと思っております。我々事務職員は医療を行うことは出来ませんが、来院される方々や働く職員の下支えをする「裏方」が事務職員、との認識で日々勤務しております。平成30年度は診療報酬の改定がありましたが、そのほかにも様々な法律や法令の改正に対応できるよう、研鑽をしきれなくてはいけないのも病院事務職員の宿命であります。

最後になりますが、私のこの病院での在職中の目標は「土崎病院の価値を高め永続を図ること」です。病院の価値を高めるといってますが、それは来院される方々や働く職員が少しずつだけど良くなってきていると感じてくれることです。地域の皆様方から支えられ続けている土崎病院の価値を高め、未来永劫地域の中で存在し続ける病院となり、職員がここで働いて良かったと思える病院となれるよう微力ながら日々努力をして参ります。まだまだ未熟者でございますので、皆様方からの忌憚の無いご意見をいただければ幸いで

す。私の生涯目標の1つはクロマグロ（100kgクラス）を釣り上げることです。過去に2度HITしましたが揚げることは出来ませんでした。その日を夢見て仕事を頑張ります。

「看護の資質向上を図る為の研修に参加して」

～看護を工夫するための知的活動である看護研究の能力を高めよう～

3病棟看護師 渡辺 紀和子
鈴木 美由記

平成30年1月30日、「研究目的をいかに絞り込むか-そのミソ・キモ・ツボ」と言う研修に参加してきました。講師は日本赤十字秋田看護大学・大学院教授の夏原和美先生でした。夏原先生はアジア・オセアニア地域をフィールドに研究をされており、パプアニューギニアにも家があって現地の生活や住民の考え方など興味深いお話を交えながらの充実した研修でした。当院では年1回研究発表会が行われております。私たちの病棟は今年度、院内研究発表の担当になっており、その参考にと参加させていただきました。研修内容は①研究とは何か②文献とは何か③文献の役割④研究の進め方と文献の使い方⑤研究の勧めです。大まかにですが内容を紹介したいと思います。

研究とは物事を一定の様式に従って（科学的に）詳しく調べ深く考察し事実や真理を明らかにすることであり、それが必要な人に伝達され活用されるために行われます。医療法では医療関係者の責務として医療を受ける者に対し、良質且つ適正な医療を行うよう努めなければならないとあり、看護においてはエビデンスベースド ナーシング（根拠に基づく看護、以下EBN）がこれにあたり、看護研究から得られた確かな知識に基づくケアが求められるようになっています。EBNの実践のためには1.問題を明確にする2.文献を探す3.文献を批判的に吟味する4.患者への対応を検討する5.アウトカムを評価するという5段階があり、文献が大きな役割を担っているため文献の種類・成り立ちを知ることも大切です。医療系論文の一般的な種

類は原著、総説、研究報告などが上げられ、文献検索にはグーグル スカラーなどのサイトを活用すると探しやすいそうです。また、文献の構成としては序文、方法、結果、考察から成っており、それぞれの特性を理解した上で研究に活用していきます。研究の進め方は研究の動機づけ（興味・関心）と情報収集の2つを行き来し自分のやりたいことを客観的に把握する、疑問を疑問形で書き出す→疑問を5W1Hにあてはめ見直す→研究枠組みの作成（文献をみて形成要素を整理）→具体的な実施方法を立てる、このような流れで進めると良いとのことでした。最後に一番大切な事は「研究には情熱が必要なので興味のない事はテーマにしない！」とおっしゃっていました。

今回の研修を通して今まで慣例的に行われてきた看護において、エビデンスを明確にして評価し直すことで時代の流れに沿った科学的な看護の実践につなげていく事が必要だと学びました。その中でも患者さんのニーズに沿った看護、安全安楽そして安心できる療養、その人らしい生活が送れるように工夫し、看護の質の向上に向けてこれから研究に取り組んでいきたいと思います。





職員の健康管理と福利厚生のため就業後、当院5階で卓球を楽しんでいます。30分もラケットを振ると、じんわりと心地よい汗が滲んで、爽やかな気分になります。日頃のストレス解消に皆さんも5階に足を運んでみては、いかがでしょうか。還暦を過ぎて体重増加の一途を辿っている私です。ダイエットに取り組んでみても効果なし。そこで5階で卓球を楽しんでひそかにダイエット効果を狙っているのですが・・・まだまだ効果はありません。脂肪燃焼効果、カロリー消費効果、ウエスト痩せ効果があるのではないかなどと思っていますが、果たしていつ頃効果が出るのでしょうか。

白球を追っているとあっと言う間に30分は過ぎてしまします。これからも、仕事と家事と卓球のバランスを考え、無理のないように続けたいと思います。現在卓球を楽しんでいる小野病院長、八木外科部長、野崎看護部長、医事課・総務課の皆さん、居宅介護支援事業所加藤管理者が主なメンバーですが、たくさんの職員に楽しんでいただければと思います。卓球経験の有無は関係なく、ゆっくり、のんびりと楽しんでおり、就業後一度覗いてみてはいかがでしょうか。職員、皆さんのお越しをお待ちしております。



来たれ卓球部員

地域福祉部
佐藤 千秋



医療法人 運忠会
土崎病院 病院長 小野 栄二
TEL : (018)-845-4121

内科・外科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	(第2・4)	
午後 14:00 ~ 17:00	●	●	●	●	●		

外科の診察は午後予約制です。また水曜午後は休診です。

心療内科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00		●	●	●	●		
午後 14:00 ~ 17:00	●		●	●	●		

泌尿器科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00				●	●		
皮膚科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00		●					

禁煙外来	月	火	水	木	金	土	日
午後 15:30 ~ 16:30				●	●		

禁煙外来は予約制です。018-845-4121までお問い合わせください。

職員紹介

①ニックネーム ②抱負 ③一言アピール

Question!

かめい ゆみこ
亀井由美子

土崎病院
1病棟看護補助パート

- ①かめちゃん
- ②患者さんの名前の確認を怠らず、間違いのない援助をする。
- ③花があふれる春が大好きです。

こだま みゆき
小玉美由紀

土崎病院
3病棟看護補助

- ①特になし
- ②業務を学び、活かせるようがんばります。
- ③楽しみは、近くの温泉でゆっくりすることです。

ほさか るな
保坂瑠奈

なぎさ
通所リハビリ介護パート

- ①るなぽん
- ②何もかも初めてで緊張していますが、利用者様一人ひとりに向き合って仕事をするように努めています。
- ③運動が好きで休みの日にはサイクリングや散歩をしています。テニスも昔よくやっていてラケットを持っています。

さとう あきこ
佐藤明子

なぎさ
療養棟4階介護パート

- ①明子
- ②笑顔で利用者様とコミュニケーションを図っていきたいと思います。
- ③趣味は家庭菜園です。

くろさわ えいいち
黒澤栄一

土崎居宅介護支援事業所
介護支援専門員

- ①クロ
- ②頼りがいのある仲間に支えて頂きながら精一杯頑張ります。
- ③趣味：釣りとボーリング 座右の銘：フィッシュ&イート

あまの さちこ
天野幸子

土崎ヘルバーステーション
訪問介護員パート

- ①特になし
- ②ご利用者様が安心して頼れるヘルパーになれるようがんばります。
- ③笑顔でがんばります。

やすい たかひで
安井貴秀

高齢者向サービス付住宅しおさい
介護福祉士

- ①やっしー
- ②ご利用者様が笑顔で過ごせるよう、努めています。
- ③趣味などは特にありませんが、高校の時はバドミントンをやっていました。

いけべ かんな
池部かなな

土崎病院
3病棟看護師

- ①池部
- ②一生懸命頑張りたいと思います。
- ③趣味は温泉巡りで、たくさんの温泉に行きたいです。

ほさか さゆり
保坂さゆり

あおぞら保育園
保育補助パート

- ①特になし
- ②子どもたちが毎日安全に、1日楽しく過ごせるように頑張りたいです。
- ③楽しいことが大好きです。夏には土崎のお祭りに行ったり、毎年海に行ってキャンプやバーベキューをしています。

やまだ やすこ
山田保子

なぎさ
通所リハビリ介護パート

- ①特になし
- ②思いやり、日々努力、独り立ちを目指しています。
- ③元バスケ部で、秋田ノーザンハピネッツにはまっています。

いなば のりこ
稻葉紀子

なぎさ
ショートステイ看護師パート

- ①名前や名字で呼ばれます。
- ②入所されている方との心の繋がりを心がけたいです。
- ③ダイエットをしようかと思っています。

すがわら はるな
菅原春奈

土崎ヘルバーステーション
サービス提供責任者

- ①特になし
- ②明日やろうではなく、今日できる限りやる。
- ③今を一生懸命に生きる。

しんどう ちかこ
進藤智加子

高齢者向サービス付住宅しおさい
看護師

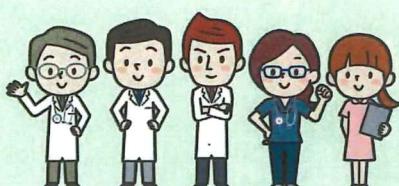
- ①ちかちゃん
- ②「寄り添う」をモットーに頑張りたいです。
- ③1年前からトールペイントを始めました。力作に挑戦中です。

もりもと みか
森本美香

高齢者向サービス付住宅しおさい
介護福祉士

- ①もり
- ②笑顔を忘れずに信頼関係を大切にしていきたいです。
- ③趣味は釣りで、剣道をずっと続けています。

平成29年8月から平成30年3月までに
入職した職員を紹介いたします。





平成30年1月7日に、第2回なぎさ合同新年会を開催いたしました。

昨年増改築した通所リハビリテーションのホールには、なぎさ療養棟とショートステイなぎさの利用者がおおぜい集まり、いつもは顔を合わせない利用者が和気あいあいと会話を楽しみ交流を深めました。

今回なぎさ職員によるドラムの演奏や歌、なぎさファーストの会によるハンドベル演奏が披露され、なじみのある曲を聴きながら昔を懐かしみ、一緒に歌を歌

い盛り上がり、笑顔で楽しまれていました。また演奏はもとより、職員の普段はあまり見せない姿に、利用者の驚きが隠せない様子もうかがえました。また余興では二人羽織が披露されました。会場は利用者と職員の大きな笑い声や拍手につつまれ、大いに盛り上りました

新年会の締めくくりとして、利用者と職員が協力して作製した鏡開きの樽を用意し、参加者全員の掛け声とともに、利用者の無病息災、長寿を祈念し鏡開きを行ないました。

最期に、なぎさ合同新年会開催にあたり、利用者を通じて「笑顔に勝る化粧なし」を実体験することができました。また皆さんの協力のもと盛会に終えることができ、大変感謝しております。



秋田の気候はまだ少し肌寒い季節ですが雪も融け、新緑が溢れる良い季節になりました。これからは時季、暖かい日差しが心地よくなる反面、花粉の飛散が増え、紫外線が強くなる季節もあります。風が強いのも春の特徴で、風が花粉や砂埃を舞い上げて肌を汚したり、乾燥を引き起すのでお肌のトラブルにも注意が必要です。紫外線対策・洗顔・水分補給をしっかりと心がけて、春の陽気を楽しんでください。

(小塙)